

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 25 年度

事業所番号	2794000345		
法人名	社会福祉法人 ウエル清光会		
事業所名	グループホーム輝豊苑		
所在地	大阪府豊中市上野東2-4-47		
自己評価作成日	平成 25年 8月 15日	評価結果市町村受理日	平成 25年 11月 18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 25年 10月 15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人らしいケアの実現を目指し、勉強会や研修をとおして職員のスキルアップに努めています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

2005年に設立され地域で活躍している社会福祉法人が運営する2ユニットのグループホームです。ホームは1年前に新築開設しており、2階建ての2階部分に位置し、1階にはデイサービスセンターを併設しています。職員は利用者一人ひとりを大切にしたい支援に努めており、地域の中で利用者がその人らしく暮らせるように地域連携に力を入れています。運営推進会議は家族参加のもと2カ月に1回開催されており、活発な意見交換が行われています。家族の意向から家族会も結成され、例会では認知症の学習会を開催するなど、利用者支援を意識した取り組みをしています。また、家族の協力を得て日帰り旅行に出かけるなど、利用者に喜んでもらう取り組みをしています。利用者が重度化した場合の対応については、紙面で詳細部分まで利用者家族の意向を確認し、確認書として残しながら、状態の変化があれば意向を再確認するなど、細やかな対応をしています。管理者をはじめ職員は利用者支援について熱心に学習しており、さらなるサービス向上を目指している事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	月に1度のカンファレンスでは、理念に基づいた話し合いを行っている。	「全従業員の物心両面の幸福の追求と、福祉を通じて三方笑顔を創造し、社会の成長発展に貢献する」を理念として掲げ、運営方針の一つに「保健・福祉・医療の連携、地域及び家族との連携の強化に努め、利用者が地域社会において安心して生活を送ることができるように支援いたします」と具体化して、地域密着型サービスの意義を踏まえた支援に取り組んでいます。理念は毎朝の職員ミーティングで唱和し、共有しています。	理念をホーム内のわかりやすい場所に掲示し、共有してはいかがでしょうか。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の老人会のイベントへ参加する機会を持ち、施設のイベントへも参加を促している。	法人では開設前から地域自治会へ出向いて説明を行い、協力依頼をしています。開設後1年を経過した現在は、地域の夏祭りや町内イベント餅つき、地域老人会の催し等に参加するなど、地域交流に力を入れています。利用者は近くの小学校で行われる敬老の日の催しに招待されて参加したり、高校生吹奏楽部の訪問を受けたり、地域ボランティアの協力を得て歌や太鼓、日本舞踊などを観賞したりして楽しんでいます。職員はホーム周辺の掃除等に積極的に取り組みながら、近隣住民の意向を確認し、利用者・家族とも相談して、近隣民家と接している居室の窓に目隠しを付けるなど、ホームが地域に定着するよう努めています。	ホームでは、今後も地域連携に力を入れる予定です。地域の行事には積極的に参加しながら、地域の方々にも参加してもらえるようなイベントを開催していく予定です。今後、取り組みの成果が期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	家族会の際に勉強会も同時に行う。運営推進会議出席者から、地域の方々への参加も促していく予定である。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月々の活動報告を行い、参加者からは幅広く意見をもらえるように促し意見交換をしている。意見、要望については話し合い、前向きに検討している。	運営推進会議は2カ月に1回、年6回の定期開催をしていますが、開催要領等は作成していない状況です。メンバー構成は、利用者家族、老人憩いの家委員長、介護相談員、地域包括支援センター職員、市社会福祉協議会職員、市担当職員を委員としています。最近の会議では消防避難訓練、地域連携、家族会の開催、緊急時・ターミナルの対応等について話し合っています。家族からは、利用者の日常の様子を映像や写真に残してほしい等の意見も出され、職員は出された意見や提案をホーム運営に活かすよう取り組んでいます。	運営推進会議開催要領については、今後検討し、作成する予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の際には各関係者へ活動報告を行い、今後の計画についての意見交換を行っている。	開設当初から、市の担当者とはホーム運営について、利用者支援について相談しながら進めています。市の担当者は、運営推進会議メンバーでもあり、情報交換も十分に行う機会があります。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修、勉強会において身体拘束について学ぶ場を設け、実践している。	利用契約書に「身体の拘束等」の項を設け、「当施設は原則として利用者に対し身体拘束を行いません」と明記しています。職員は研修や勉強会で身体拘束について学びながら、身体拘束を行わないケアを実践しています。ユニット玄関には鍵をかけていませんが、総合玄関に繋がるエレベーター、階段出入り口2カ所のドアには、利用者の安全確保を理由として施錠しています。	利用者の安全確保を行いながら、鍵をかけないケアを実践できるよう、取り組むことが期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、勉強会において学ぶ場を設け、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	一部職員にとどまっている。今後勉強会などで学ぶ機会を作るように検討している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時には十分に時間を取り説明を行い、質問等にも答えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で意見交換を行う。9月より家族会を開催し、幅広い意見を取り入れていく予定である。	家族が来られたら湯茶の接待を行い、利用者とゆっくり過ごせるように配慮しています。また、職員から利用者の様子を報告し、家族の意向や希望を確認しています。運営推進会議のメンバーとして家族が複数名参加し、積極的な意見を出されています。家族の希望から、家族会を設立し、認知症についての理解を深めるための学習会を併設したり、日帰り旅行を企画したりするなど、積極的に取り組んでいます。	家族会を中心とした認知症についての勉強会を継続開催し、地域住民にも参加者を呼びかける予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のカンファレンスでは意見交換を行い、職員面談の際に個別の意見を聞いている。	管理者は日頃から職員の意見を聞きその都度対応するよう心がけています。月1回の職員会議で出された意見や提案はホーム運営に活かしています。2ヵ月に1回、職員との個人面談を行い、会議等では出しにくい意見や提案についても聴取し、対応しています。	管理者は職員の育成に力を入れ、外部研修等を活用しながら、職員のスキルアップを図る予定です。今後、取り組みの成果が期待されます。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1度の誕生日会では代表者に職員の抱負や意見を述べる機会がある。個別面談を通して管理者が個々の思いを聞く機会を設けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回職員主体の勉強会を行っている。勉強会の内容は職員からの意見の基づき年間計画を立てている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は相互訪問を行い、職員へ伝えている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所の際には本人の要望を伺う時間を設け、ケアプランに反映させている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所の際には家族の要望を伺う時間を設け、ケアプランに反映させている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を優先しながら、本人に必要なケアを提供できるように提案している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員にはパーソンセンタードケアについて勉強する機会を設け、利用者との関係づくりに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員にはパーソンセンタードケアについて勉強する機会を設け、家族と共に支えていける関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力のもとで本人が主体的に生活できるように努めている。	友人や知人が訪ねて来られたら歓迎し、ゆっくりできるように配慮しています。家族の協力を得て馴染みの場所や、行きつけの美容院等に出かけられるよう支援しています。希望があれば手紙を書いたり、電話をかけたりする際の支援をしています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員にはグループホームの理念について学ぶ機会を設け、利用者同士が関わり合えるような関係づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じた支援を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、または家族の意向が反映できるようにケアプラン更新の際には聞き取りを行っている。	職員は、利用者一人ひとりの好みや意向を確認しながら支援をしています。利用者とは対話して心情を理解し、日常の会話の中で思いや意向を確認しています。言葉で表現しにくい場合には表情やしぐさで確認したり、どちらが良いか問いかけたりして意思確認をしています。職員一人ひとりが確認した利用者情報は記録に残して職員間で共有し、個別支援に活かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際には生活歴を伺う時間を持ち、また入居後もコミュニケーションを通して理解を深めながら、日々の生活に生かせる様に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りやカンファレンスを通して職員同士の情報の共有や意見交換を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時には本人、家族からの意向を伺い、職員とのカンファレンスを行っている。	利用者・家族の意向を確認してケアプランを作成しています。一人ひとりの利用者とは対話して把握した情報を活かし、カンファレンスを開催した上で介護計画書を作成しています。必要時には医師と相談したり、家族を交えて話し合ったりしています。介護計画書は実施記録を残し、3ヵ月～6ヵ月毎にモニタリングを行い、見直しをしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	必要な情報は個別に記録し、職員間で共有、カンファレンスで今後のケアに生かせる様に話し合う場を設けている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今後、幅広い地域サービスの情報収集に努めていきたい。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	なじみの地域での暮らしが継続できるように、地域に根付いた運営に努め、家族の協力を得ながら支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の選択、主治医以外の受診などは本人と家族の意向に従う。	本人・家族の希望に沿った医療機関で、適切な医療を受けられるように支援しています。希望者は、協力医療機関の内科医師や歯科医師の往診を受けることができます。受診については家族同伴にしていますが、家族が付き添えない場合には、職員が同伴しています。協力医師と提携し、24時間オンコール対応ができるようにしています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携のクリニックとの連携を取りながら、定期往診の対応と、状態の変化に合わせて指示を仰いでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	家族の意向を聞きながら、病院関係者との連絡、相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療、緊急時についての確認書を取り、職員間でも共有している。	重度化した場合の対応については、入居時に説明を行い、終末期の「医療についてのお伺い」として家族の意向を記入し、確認書を交わしています。利用者が重度化した場合には再度、家族に意向確認を行い、医師と連携してできる限りホームでの生活が続けられるように支援しています。希望者には終末期ケアを行う用意があり、看取りを行った経験もあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会にて、各症状における急変の状況と対応を学んでいる。日常のケアにて、ヒヤリハットや事故報告書を活用し、再発防止に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な消防訓練を行っている。今後地域の方に参加して頂ける訓練を実施していけるように検討中である。	非常災害対策として、消防計画、風水害や地震等に対処する計画を作成しています。年に2回の災害時避難訓練を行っていますが、そのうち1回は消防署の協力を得て、防災・避難訓練について具体的な指導を受けています。本年度は10月に消防避難訓練を行う予定であり、運営推進会議で出された助言を活かして近隣住民にも呼びかけ、地域と連携した取り組みを進めています。災害時に備えて法人全体で備蓄を行い、ホームから数分離れた場所に水や食料品等3日分相当の備蓄をしています。	非常時には、利用者が速やかに屋外へ退避できるよう、2ヵ所の非常階段に続く扉の解錠を行う工夫が望まれます。非常災害時の備蓄については、当ホームにも1日分程度の備蓄を行うことが望まれます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	パーソンセンタードケアについて学ぶ場を持ち、実践に努めている。	利用者一人ひとりの誇りや、プライバシーに配慮した対応を心がけています。職員間で勉強会を行い、接遇についてのスキルアップに努めています。個人情報取り扱いについては、利用契約書に「秘密の保持」について明記し、職員については入職時に誓約書を交わしています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	パーソンセンタードケア、認知症の方との関わり合いについて学ぶ場を持ち、実践に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活ペースを理解できるようにカンファレンス等で話し合う機会を持ち、パーソンセンタードケアを念頭に置いたケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人一人の生活ペースを理解できるようにカンファレンスなどで話し合う機会を持ち、パーソンセンタードケアを念頭に置いたケアに努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しめるような環境作りに努め、可能な方には配膳や片付けをして頂いている。調理レクリエーション、おやつ作りなど、利用者が主体的に調理に参加できる機会を持っている。	昼食・夕食は、同法人特養の厨房で作製、ホームに搬入されたものを配膳しています。ご飯は各ユニットで炊いて、汁類は温めて利用者に提供しています。朝食は食材を同法人厨房から搬入し、ホームで作っています。利用者は配膳の準備や後片付けなど、できる範囲で一緒にしています。職員は利用者と調理レクリエーションに取り組み、みんなで献立を考え、お好み焼きなどを調理して楽しむ機会を持っています。利用者の希望に添って外食に出かけることも楽しみ事の一つとなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の日々の摂取量を把握し、適切な食事、水分摂取ができるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの必要性を理解し、本人の生活ペースに合わせた口腔ケアの声掛け、介助を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	カンファレンスにおいて、それぞれの排泄パターンを理解し、統一したケアを行っている。トイレでの排泄を促し、ADL、QOLの向上に努めている。	排泄チェック表を記載し、利用者一人ひとりの排泄状況を記載して自立支援に活かしています。しかし、一部効果の出ている状況もあり、オムツ類に頼っている傾向があります。水分摂取量の記載を行い、脱水症予防等に配慮しています。	利用者一人ひとりの状況に合わせた排泄支援について、さらに効果的に取り組めるよう、職員間で検討してはいかがでしょうか。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	家族の協力を得ながらヨーグルト等本人に合った便秘対策を行っている。便秘の予防と共に筋力維持を図る為に体操、歩行など運動の機会を作っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居前の生活ペースに合わせた入浴ができるように心がけている。	週に2回の入浴日を決めて、最低週2回の入浴支援に取り組んでいます。一部、家族の希望により、週3回入浴している利用者もおられます。体調や気分に合わせて入浴時間や曜日を変更することもあります。また、清拭や足浴を行い、清潔保持に努めています。	管理者は週3回の入浴日が設定できるかどうか、今後の課題として検討する予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活ペースに合わせたリズムが維持できるように支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師との連携を取り、薬剤師の指導を受けながら安全に内服できるように支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	充実した生活が実現できるように、他者との関わりを持てるように心がけ、できる事は声掛けし、見守りながら家事などを行って頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、買い物などの希望にはできるだけ添えるように時間を設けている。家族の協力を得ながら、外食などの機会も作っている。	日頃は町内の公園を散歩したり、近くのドラッグストアに買物に出かけたり、利用者の希望に沿って外出支援をしています。年間行事では家族を誘って日帰り旅行に出かけたり、町内の老人会のイベントに参加したり、動物園に出かけたり、バラ園や紅葉狩りを楽しんだり、外食に出かけるなど、日頃は行けないところに出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な方はお金を所持して頂き、必要に応じて買い物などにお連れしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望に合わせて支援している。		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に明るく、清潔にあるように心がけている。	ホームは閑静な住宅街にあり、取り付け道路は広く、駐車場がゆったりとしています。居間は中庭に面しており、明るく清潔で植栽も楽しめます。トイレは各ユニットに3ヵ所あり、車イス対応になっており、利用者の利便が図られています。浴室は手すりを十分に設け、安全性と利便性を考慮しています。	各ユニット居間にソファやイスを置いて利用者がくつろげるスペースを設けてはいかがでしょうか。ホームでは外出時やイベント時に写真撮影を行い、居間等に展示して共有する予定にしています。今後、取り組みの成果が期待されます。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングルームを談笑の場として活用している。居室がリビングルームに隣接しているため、居室の扉の開閉によってプライバシーを確保して頂いている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド以外の家具などは本人、家族に配置して頂いている。	居室には、備えつけのベッドとゆったりと使える洗面台が設けられています。利用者は、使い慣れた家具やテレビ、時計、写真、ドレッサーなど、それぞれの馴染みのものを持ち込んでいます。居室からは外の風景も眺められ、ゆっくりくつろぐことができます。職員は清潔保持に努め、近隣民家と接する一部の居室については、窓にスクリーンを取り付けるなど、利用者のプライバシーにも配慮した支援をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングルームにて読書、書き物できるような環境作りに努めている。裁縫など本人の趣味が安全に提供できるように見守りを行っている。		